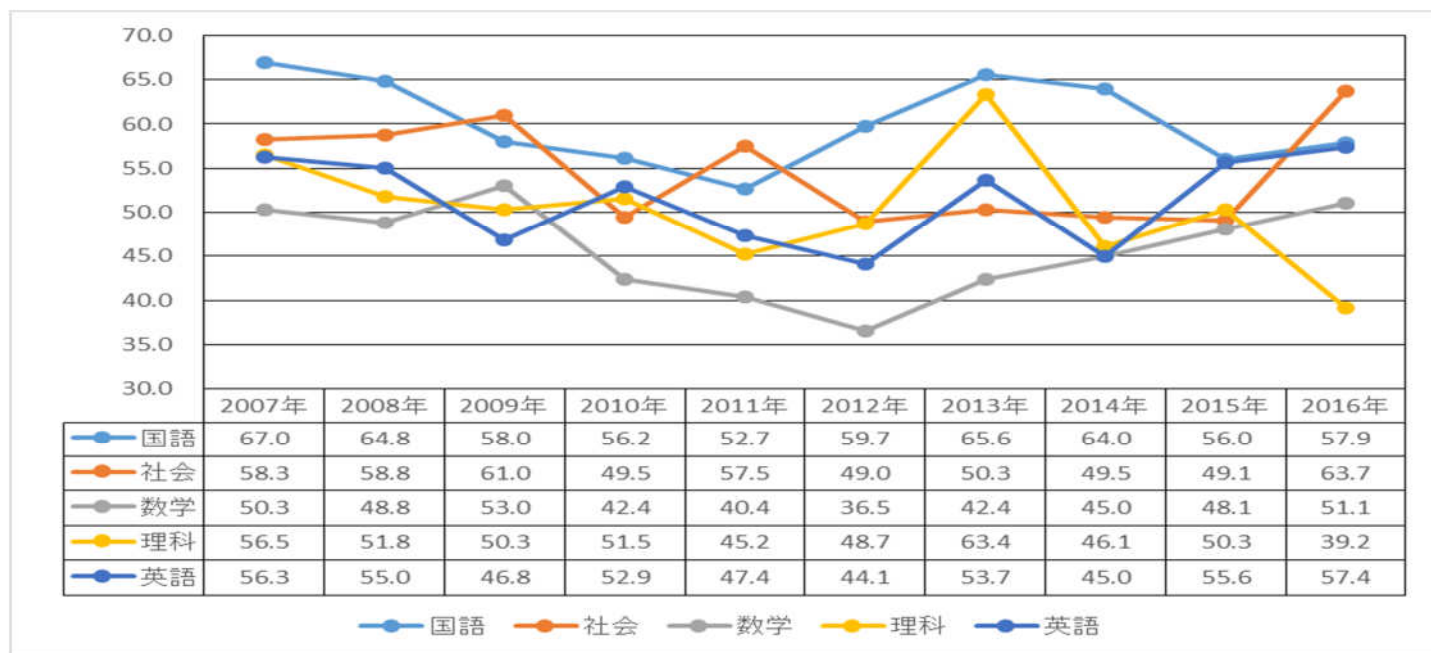


S.net グループ 受験情報通信

～ 第 2 回 ～ 過去 10 年間の入試平均点と注意すべき内容。

◎過去 10 年間の公立入試の平均点の推移は以下の通りです。



昨年 2016 年度入試は、理科の平均点が 39.2 点と 40 点を下回った。また、社会に関しては、63.7 点と過去 10 年でも一番高い試験となった。国語・数学・英語の三教科は微増にとどまった。

では以下が今年度入試の平均点の予想になります。

国語：55 点前後（前年度よりも少々低くなる）

数学（学力検査）：45 点前後 数学（学校選択）：55 点前後（前年度よりも低くなる）

社会：60 点前後（前年度とさほど変わらない） 理科：50 点前後（前年度と比べ高くなる）

英語（学力検査）：60 点前後 英語（学校選択）：75 点前後（学力検査・学校選択ともに平均点は高くなる）

今年の平均点から見る注目点と受験生の皆さんへのアドバイス

☆内容が変化した「英語」と「数学」に注目！！☆

注目点① 今年、最も点数が上がりそうな教科が「英語」！ **注目点②** 数学以外は差がつかない！

学力検査問題の英語は大問 2 で出題される「英単語」の勉強ができていれば解ける問題になります。点数は 12 点と全体の 1 割強を占める。ここははずせないと思います。

学力検査問題・学校選択問題の長文読解では「単語記入の問題」、「動詞の過去形変化」など典型的な読解問題なので、入試用の「英文読解トレーニング」・「英単語の不規則変化」などの問題を反復練習することで、高確率で解くことができる問題がほとんどでした。

数学では中学 1 年生から中学 3 年生までの様々な単元の問題が総合して出題されていますが、特に注意してもらいたいものがあります。学力検査問題でも、学校選択問題でも、中 3 生の受験間近に学習する「三平方の定理」が入試問題で多用されています。そういった問題を確実に攻略するためには、「いかに早く単元に入り、問題演習を行い、その問題の反復演習を行うか」が問題を解くカギとなりますので、あらかじめ覚えておくといいでしょう。

以上

（作成情報協力：(株)エデュケーショナルネットワーク）

次回 第3回は「2017 年の埼玉県公立入試 今年の入試総括(国語・数学・英語)」。